

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	マレーシアプトラ大学 (マレーシア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of modern language and communication		
報告書提出日	2019年02月26日		
留学予定期間	2019年02月～2020年01月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 0 (円) /合計

航空券代： 60000 (円) /合計

ビザ申請関連費： 20000 (円) /合計

その他（予防接種）： 10000 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

1.2. 渡航について

空港到着後、KLライナーで学校付近の駅まで行き、その後タクシーを使用。

私の場合は、夜空港に着き Chinese New Year だったためゲストハウスに入ることができなかったため、近くのホテルで2泊した。

2日後、grab というアプリで車を呼びゲストハウスに向かった。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

*手続き方法

ゲストハウスに行く前に大学の中にある CIMB BANK に行き指定された金額を払う。

（支払いはキャッシュのみ）

レシートは鍵の引き換えになり、部屋に入ることができる。

*気づき

部屋は（1人・2人・3人部屋）分かれている。

リビング・キッチンが6人で共用となる。

通常は6人のシェアハウス。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

出発2ヶ月前 SEV 申請を行う。EMGS というマレーシアの機関と連絡を取り、VAL というものを取得する。(かなり時間がかかるため時間の余裕が必要)

VAL 取得後、大使館に行き SEV を発行してもらうことができる。(SEV は次の日に発行される)

SEV 取得後、渡航可能となる。

現地到着後、学校側から出された書類を全て終えだいたい2週間ほどで Student pass を取得できる。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

2/8 8:00-17:00 オリエンテーション (学校紹介・注意事項など)

2/9 KL ツアー

2/10 マラッカツアー

2/11 健康診断

2/12-2/15 履修登録など

2/18 授業開始

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

*目的

他国の文化を実際に目で見て肌で感じることで多くの知識を得たいと思ったから。また、語学力向上をさせるとともに、自分自身を変えたいと思ったことで留学をしようと決めた。

*目標

多くの外国人と友達になり、様々な人と会話することで語学力を上げる。そして、様々な国の文化を知り、多くのことを考えられる人になる。また TOEIC600-700 を目標。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

洋書を買って意味を調べながら、留学前に一冊の本を読むことを目標にした。洋書を読むにあたり単語と文法の2つを学ぶことができる。また、単語と熟語は一番時間をかけて勉強をした。

日本で勉強をしていたとしても語彙力の無さは非常に目立つため、語彙力を増やすべきだと感じた。

そして、会話をするにあたり大事なリスニング力を留学前にあまり勉強してこなかったため、これからの課題としてリスニング力を高めていきたい。

3.3. 今月の学習・研修目標

生活・授業に早く慣れること。また、リスニング力・語彙力を高めて早く聞き取れるようになり、多くの発言をできるようにすること。また、英語力を高めることと共に積極性を高めていきたい。現地の学生たちや外国人の人達は、みんな失敗を恐れないで積極性がものすごくあるため、自分自身が前に出て堂々と英語で意見のことを言えるように少しずつ頑張る。今月は、小さな目標として積極性と多くの友達を作ること第一にしたい。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	春学期
月	11-12 Introduction to language and culture 12-14 Communication and change 17-20 Public oration
火	10-12 Introduction to language and culture
水	12-13 Communication and change 14-16 Speech communication
木	13-14 Speech communication
金	
土	
日	

4.2. 授業について

* Introduction to language and culture

〈内容〉 言語・文化とはなにか・言語と文化の関係性・話される言語と口承文化・文化のアイデンティティ

〈進度〉 1-2回の授業で1トピックを終わらせていく。先生がみんなに質問形式で行いながら授業が進められている。日本文化についてすごく聞かれる。

〈理解度〉 簡単な部分は理解ができるが、難しい単語がおおくて理解が難しい時もある。先生がゆっくり説明してくれる部分は聞き取りやすい。

* Public oration(speaking)

〈内容〉 特定の内容でグループごとにスピーチ・スピーチをするうえで聴取のことを考えながらふさわしいスピーチなのか・コミュニケーションのコンセプトとは・アウトラインスピーチ

〈進度〉 グループワークが多く、スピーチについて細かく説明される

〈理解度〉 グループワークのため理解がしやすい

* Speech communication

〈内容〉 理論とコンセプトに基づいたコミュニケーション・効率的なコミュニケーション・グループディスカッション

〈進度〉 2週目から出されたお題についてディスカッションが始まる

〈理解度〉 周りの友達に助けられながら半分以上は理解できるときもある

* Communication and change

〈内容〉 コミュニケーションをするにあたり何が必要であるのか・コミュニケーションについての定義・概念など

〈進度〉 授業自体は大幅に進んでいないが、名指しで当てられ前に出て話す場合もある。

〈理解度〉 多くがインターナショナルの生徒であるため、丁寧に説明をしてくれることによりすごく理解がしやすい。

4.3. 予習・復習・自習について

* Introduction to language and communication

→毎回の授業が終わった後にレジュメを見直し、単語を調べながら理解度を挙げている。また、授業始

まる前に予習として分からない単語は調べとく。

*** Public oration**

→理解できなかった部分は友達や先生に聞き、理解したうえでレジユメの見直し・意味調べをする

*** Speech communication**

→ディスカッションの内容を頭に入れ少し案を考えておく。また、レジユメの復習。

*** Communication and change**

→レジユメの見直し。授業前に予習で内容を確認する

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

Wifi は雨が降ると一時使用できなくなる場合がある。

部屋にはあり・ヤモリなど虫が多いため殺虫剤必須品。

SIM カードはとても安い。

ゲストハウスのセキュリティーは安全ではない。門限などもなく自由。

5.2. 課外活動について

- ・買い物（近くのスーパーでみんなで食材を買い物）
- ・旅行（マレーシアの市内・島・近隣のアジア）
- ・図書館やカフェで勉強

5.3. 現在までの感想

ゲストハウス・オリエンテーション・授業を通して多くの友達ができた。

そのため、毎日外国人と話をするという環境の中ですごく成長でき、英語にトライすることの

毎日である。履修登録の際に大学のシステムエラーで中々履修登録できず、すごくオフィスの人と言い合いになり、英語のできなさに悔しくなりつらかった。しかし、先生や友達など多くの人の助けを借りてうまくいかないことも解決した。マレーシアに留学したには様々な文化や宗教についての知識を得たいと考えている。これから授業に専念して英語を頑張りたい。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（4月）

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	マレーシアプトラ大学 (マレーシア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of Modern language and communication		
報告書提出日	2019年 4月 日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

***目標**

語彙力・発音・文書力があまり蓄えられていないため、その三点に集中的に焦点を当てて、より豊富な会話を様々な人とできるようになるように努力する。そして、授業を通してリスニングには慣れてきたが日本語から考えるのではなく、英語から考えられるようにすることを心掛ける。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

留学生活が始まり早2ヶ月が経過して、マレーシアのイスラム教がどのようなものでありイスラム教信者の方々の意見や考え、イスラム教がなぜここまで決まりが多いのかなどをすごく学ぶことができた2ヶ月であった。また、中国やアラビア系の友達から国独自の文化について教えてもらい2ヶ月間で様々な人と関わり、多くのことを得ることができた。前期は残り2ヶ月しかないため、これから2か月間の目標はもっと流暢な英語で話せるように意識しつつ、より語彙力をあげていきたい。また、授業内での発言や積極性を高めていきたい。

1.3. 今月の学習・研修目標

4月・5月はプレゼンテーションやアサイメントが多くあるので、まずは自分がやるべきことをこなしていきたい。そして、プレゼンテーションを通して積極性とスピーチ力を上げていきたいと考えている。また、自己勉強として語彙力向上のため単語の勉強に力を尽くし、授業内では積極的に質問や発言をすることと授業内の友達との交流をさらに深める。

2. 学修について

2.1. 授業について

***Introduction to language and culture**

〈内容〉前回と引き続き主に多文化やコミュニケーションとはどのようなものなのかについて詳しく講義が開かれている。最近では、日本人の行動とマレーシア人やほかの国の人々の行動がどのくらい違うのか、それぞれの国にどのような文化を持っているのかという講義もあった。

〈前回からの変化〉テスト1を通して改めて今どんな授業が行われているのか、どのような形式でテスト問題が構成されているのか深く理解できた。また、講義を重ねていくにあたり先生の言っていることの理解度があがっていている気がしている。

*Public oration

〈内容〉スピーチをするにあたってジェスチャーがどれほど大事なのか、会話やスピーチをするにあたりどこの部分を強調するかによってなにを言いたいのかがわかるなどといった内容の講義が行なわれたりした。また、携帯アプリで競い合う講義のクイズなども授業の最後に行なわれる。

〈前回からの変化〉日本人であることを先生に知られてしまってから、日本についてのことをものすごく当てられる。そのため、日本の知識を増やさないといけないと感じた。また、グループアサイメントの提出などもあった。

*Speech communication

〈内容〉EQ や IQ などを持っている人間はどのくらい知識があり、常識があるのかなどといった授業が開かれた。また、テスト1の復習を授業内で詳しく行われた。

〈前回からの変化〉授業内容にすごく興味が湧くようになり、先生の言っていることが初めより聞き取ることができるようになった。また、テストを通して理解度がさらに深まった。

*Communication and change

〈内容〉前の自分と今の自分を比較して自分たちが何が変わったか、自分をいつも変えてくれる曲がなにであるのかについてプレゼンテーションを行った。

〈前回からの変化〉内容がどんどん難しくなっているためすごく授業内に苦戦することが多い。また、難しい内容は友達に積極的に聞くようになった。

2.2. 予習・復習・自習について

*Introduction to language and communication

→ビデオを使用する授業があったため、復習の時はビデオを見ながら自分なりに要点をまとめてノートを作り理解度を高めていた。

*Public oration

→授業内で分からなかった単語を調べながら、授業内プリントを見返している。

*Speech communication

→テスト内容のエッセイがとても難しかったため、友達に何回も確認してもらいたくさんの人に助けを求めながら復習・自習した。

*Communication and change

→内容が難しく、先生の言っていることが理解できないことが多かったため単語や文法をみなおして復習した。

2.3. 語学力について

マレーシアにきて早二ヶ月が経ち、来たばかりで初めて受けた授業の感覚からは抜け出せたと感じている。なぜなら、初めての授業のときは全くと言っていいほど聞き取ることができなかつたためすごく自分自身のリスニング力に驚かされた。しかし、2ヶ月経ったいま最初と比べると先生の言っている内容が理解できるようになり、ときどき質問されるときも応答できるようになっていた。しかし、時々マレーシア英語の癖が強い人がいる。癖の強いマレーシア英語聞き取るとはまだわたしにとって難しいと感じた。これからは、スピーキング力も同時に高めていきたいと思っている。授業ではリスニング力が

培われているため、発言力・プレゼンテーション・会話することで頑張りたいと思う。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居※	学内寮（その他： ）
-----	-----------------

夕方に雨が降ることが多く、雨が降るとたくさんの虫が窓の隙間から侵入してくるためすごく退治が大変で、一時期嫌な思いをした。ルームメイトと対策をたくさん考えている。しかし、ゲストハウスの作りがよくないため難しいことが多い。

3.2. 課外活動について

- ・ローカルやインターナショナルの友達と遊びに行く
- ・買い物（食材など）
- ・旅行
- ・宗教イベント参加

3.3. 現在までの感想

マレーシアに来て2ヶ月が経ち、いろんなことに慣れ落ち着いてきた。最初の1ヶ月はものすごく長く感じ早く日本に帰って友達や家族に会いたいという思いがこみ上げてきて、精神的に悩むことが多かったけれど周りの友達や日本にいる友達のおかげで、自分の目的を再確認することができた。私がなぜ留学に来たのか、なぜマレーシアに来たのかをすごく確認させてくれた2ヶ月であった。最近、いろんなことに興味を持ったり、積極性が高まってきたためいろんな人と話せることができるようになった。中間テストでは私自身はじめてなことだらけで大変なテスト期間であったが、なんとか頑張れた。中間休みにはオーストラリアに行きまた違った文化や建物に触れることができ、とても良いリフレッシュになった。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（10月）

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	マレーシアプトラ大学 (マレーシア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of Modern language and communication		
報告書提出日	2019年10月 12日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

*目標

1 セメスターが終わり、リスニング力はすごく慣れてきて自分自身の成長を初めて実感できた。残り数か月の留学生活は、実践的にいろんなことにチャレンジしたい。講義内の発言や、グループワークなどを自分から積極的に行うことで更なるコミュニケーション力を身につけたい。また、勉強面以外にも、たくさんの友達と仲を深めて後悔のない生活を送るようにしたい。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

9月の半ばから本格的に授業が始まり、前回のセメスターより耳が完全に英語に慣れ、授業のほとんどを理解できるようになった。また、ライティングの授業を取ったことにより毎週のエッセイにすごく苦勞をしているが、その反面すごく自分にとっていい学習になっていると思った。また、前回のセメスターとは少し違い、応用な英語の授業を取っているのですごく英語の実践になっており、最後のセメスターは大変だけど、頑張ろうと思う。

1.3. 今月の学習・研修目標

今月は、引き続きライティングの授業に力をいれてエッセイのアサイメントに力をいれて、前回よりもレベルアップできるように心掛けようと思う。また、今月は中間テスト・プレゼンテーションがあるので勉強により集中し、プレゼンテーションは実践的に英語を上手に使えるように努力したい。さらに、学校の授業だけではなく、帰国してからのことを考え時間があるときは TOEIC の勉強も少しずつ力をいれていこうと思う。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	秋学期
月	OFF
火	9-10 Approaches to reading&writting 12-14 Basic communication strategies 14-16 General

	linguistics 16-18 Small group communication
水	14-15 General linguistics
木	12-13 Basic communication strategies 14-16 Approaches to reading&writing 16-17 Small group communication
金	OFF
土	
日	

2.2. 授業について

*Approaches to reading and writing

基本的にライティングの授業であり、毎回 **argument essay** がアサイメントとして出される。また、どのようにエッセイを書くのか、リーディングの授業では何が大事なのかなどを中心に授業が進められている。また、授業の人数はそこまで多くなく、先生が生徒一人一人を見る余裕があるため、すごく細かいところまで気にかけてもらっている。

*Basic communication strategies

コミュニケーションをとるためにはどんな戦略が必要かというのが主にテーマとなり、テーマから様々な内容を膨らませたり、実践的なプレゼンテーションなどがある。授業進度はそこまでハードではなく、ファーストセメスターの人が多く、基本的にはほかの授業よりは簡単である。

*General linguistics

音のトーン・サウンドや意味、言語の枠組みを理解しすることや人間の言語などについて学ぶことを目的として、授業が行われている。授業の生徒数は 70 人ぐらいいて、すごく多いため先生が説明ばかりをしている授業なのでたまにわからないことが出てくる。また、難しい内容であるため復習をこころがけたい。

*Small group communication

スモールグループとはなにか、なぜスモールグループにすることがコミュニケーションをとるために効率的で良いのかなどがテーマになって授業が進められている。また、グループごとでプロジェクトを決め、グループのプロジェクトを一からすべてグループで考え、ファイナルプレゼンテーションが行われる。また、毎週数人が名指しで呼ばれ **individual** プレゼンテーションをしなければいけない。

2.3. 予習・復習・自習について

*Approaches to reading&writing

毎回次のアサイメントのために授業のパワーポイントを参考にしながら、エッセイに取り組んでいる。授業の復習よりもエッセイで精一杯になっているため、授業の復習もしっかりしたい。

*Basic communication and strategies

復習を中心に勉強しながら、テスト勉強をしている。また、プレゼンテーションもあるためグループで決める時間も多く取っているため、講義の内容をしっかりと頭に入れるようにしている。

*General linguistics

教科書の問題を解きながら復習をしている。この授業は基本的な **linguistics** なため暗記と復習がすごく重要なのでしっかり授業後に忘れないように復習している。また、もっと問題をとって暗記力もあげていきたい。

*Small group communication

講義の専門ワードがすごく難しいため、予習復習をつねに行っている。意味を理解したうえで講義にでるとわからないことがより分かりやすくなるため、授業の内容が理解しやすくなる。

2.4. 語学力について

半年が経ち、リスニング力が圧倒的に上がったと自分では感じている。スピーキング力も以前よりは上がっていると思うが、単語力と熟語力がないためもっと語彙力を身につけたい。また、帰国後の準備のため TOEIC の勉強にも力を少しずつつけて、今のことも大事だけれど帰国後のことも考えられるようにしたいと思う。前のセメスターよりも今回のセメスターは、実践的な英語にチャレンジしたいため授業やプレゼンテーションを前向きに頑張り、語彙力向上を目標にしたい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

雨季に入り雨が毎日降るため、夜になると大量の虫が部屋のライトに向かって部屋に入ってきて毎日すごく大変な思いをしている。窓が少し壊れており、虫が簡単に入ってこれる。また、ゲストハウス内が工事をしているため色々不便なおお困っている。9月は HAZE の危険度が高く、町中が煙っぽくなっており、学校も1週間中止になったりしていた。

3.2. 課外活動について

最近、授業のアサイメントが多いため放課後や土日は宿題に追われている。また、休みの日は友達とどこかに行ったり、ジムに行って運動をしている。

3.3. 現在までの感想

9月は HAZE の影響で1週間ほど授業が無くなったため、すごく夏休み気分が抜けなかった。新生活になり、新しい日本人や他国の留学生がゲストハウスにたくさん来て、すごく賑やかになっている。しかし、その分日本人のコミュニティができてるときもあるけど、私はコミュニティに入り過ぎないように常に心掛けている。ルームメイトがタイ人と韓国人であり、みんなすごく仲が良く楽しい共同生活を送っている。また、ルームメイトのタイ人は英語がすごく流暢なため、もっとコミュニケーションをとり英語の練習をしたい。授業も本格的に始まり、前のセメスターより大変で難しいけど、がんばっていきたい。あと残りの3ヶ月有意義に過ごしたい。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	国際文化交流学科	3 年次
派遣先大学 (国)	マレーシアプトラ大学 (マレーシア)			
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of modern language	履修言語	英語	
留学期間	2019年2月～2020年1月			
報告書提出日	2020年1月30日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Second Semester	2月12日 ～5月24日 (14週)	6月10日 ～6月23日	渡航後全ての書類提出や健康診断が終わり次第、履修登録に進める。学部の履修登録担当受付へ行き、紙を提出した人から担当のスタッフと相談ができる。(この際、あまり難しすぎる科目は取れない) もし、受講したい授業があっても人数制限で取れない場合は教授に直接お願いし、サインをもらわなければならない。
First Semester	9月9日 ～12月20日 (14週)	12月30日 ～1月12日	後期は、お金を銀行で払い次第アカウントをオープンしてもらいスムーズに履修登録ができる。受講したい授業の人数が制限を越えていた場合は上記と同じ方法で行われる。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間 (内訳)	履修内容・授業での取り組み
Second Semester	Public Oration	42 時間 1 (時間/回) × 3 (回/週) × 14 (週)	講義は月曜日に3時間続けて行われる。内容としてはコミュニケーションに視点を当て、コミュニケーションの定義・public speaking・スピーキングなどについて詳しく学ぶ。また、演習ではリーディングの一環として資料を読みグループでレポート作成をした。授業の最後の方の週にはプレゼンテーションが必ず行われた。中間試験はなく、期

			末試験は全てマーク形式で行われた。
	Communication Change	42 時間 1 (時間/回) × 3 (回/週) × 14 (週)	講義は火曜日に2時間、水曜日に1時間。内容としては、 communication の change について詳しく講義される。コミュニケーションにあたって何を変えることでより効率的にできるのかも考える。グループでのプレゼンテーションは必須であり、中間・期末試験以外にも小さなクイズが行われる。レポートなどはない。
	Introduction Language and Culture	42 時間 1(時間/回) × 3 (回/週) × 14 (週)	講義は月曜日に2時間、火曜日に1時間。内容としては、いろんな国の文化や言語の違いについて学ぶ。文化・言語とは何か、国と国の文化の違いに関しても詳しく学ぶ。プレゼンテーションは必須であり、興味のある国を一つ取り上げグループでプレゼンテーションを行う。また、中間・期末試験は全てエッセイである。
	Speech Communication	42 時間 1 (時間/回) × 3 (回/週) × 14 (週)	講義は水曜日に1時間、木曜日に2時間。内容としては、基本的にスピーキング力向上についてと実践について学ぶ。授業の中ではグループディスカッションや一人一人のスピーチも行われた。中間・期末試験は全てエッセイである。
First Semester	Communication Strategy	42 時間 1 (時間/回) × 3(回/週) × 14 (週)	講義は火曜日に2時間、木曜日に1時間。内容としては、コミュニケーション戦略に視野を当てる。コミュニケーション戦略のための定義やどのようにして効率的なコミュニケーションをとるべきなのかなどを考える。また、リーダーの高め方やスキルも学ぶ。プレゼンテーションについては必須で行われレポートもグループで提出しなければならない。
	Approaches Writing and Reading	42 時間 1 (時間/回) × 3 (回/週) × 14 (週)	講義は火曜日に1時間、木曜日に2時間。内容としては、 writing と reading がメインになっている。毎週 writing のためにエッセイのアサイメントが出され、授業内にトピックについてエッセイを書かなければいけない。また、 reading に関しては教授が用意した、記事を読みながら読み方やコツを教わる。プレゼンテーションはないが reading と writing のグループアサイメントがあり、中間・期末試験はほとんどがエッセイである。
	General Linguistics	42 時間 1(時間/回) × 3 (回/週) × 14 (週)	講義は火曜日に2時間、水曜日に1時間。内容としては、英語の音声学についてである。単語の音・意味・枠組み・様々な言語の違いなどについて詳しく学ぶ。授業の中でもプレゼンテーションが必須になっており、4人1グループで行われる(ただし、全員が話さなければいけない)。レポ

			ートは特になく、中間・期末試験共にマーク形式となっている。
	Small group Communication	42 時間	講義が水曜日に2時間、木曜日に1時間。内容としては、small group communication の理論やコンセプト、効率的な communication はどのようにするのか、group work の計画やコーディネートなどを中心に学ぶ。また、活動の一環としてグループワークが行われる。グループごとにプロジェクトを考え実行する。また、small group に関連したプレゼンテーションも行われる。中間・期末試験共に、エッセイと簡単な単語問題が出題された。
		1 (時間/回) × 3(回/週) × 14 (週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

最初の授業の時は、全く授業に追いつけなかったため毎回授業一日前にレジュメを確認して、内容とわからない単語をある程度理解したうえで授業に参加していた。英語を話せることは前提で授業は進められるため、予習が一番重視していた。また、授業後に時間がある場合は図書館に行き復習をし、単語帳を使用して単語の勉強もしていた。リスニング力とリーディング力とはとにかく、人と会話をして極めていくことが一番楽しいし成果にもつながるためその2点については自学自習を全くしていない。レジュメの予習復習を繰り返すことによって、テストの時も頭の回転が速くなると感じた。

1.4. 語学力について

基本的に、生活するに当たって外国の人と関わり、たくさんコミュニケーションを取り、自分自身の語学力を上げていった。また、私の場合はルームメイトが全員外国人であり毎日英語を話さなければいけない環境を自ら作っていった。日本人がいれば自然的に日本語でしか会話をしないため、私自身はスタッフをお願いをして、日本人と同じ部屋にはならないように頼み外国人と住むことを決めた。前期のルームメイトとはすごく仲良くなり、私は英語で日本語を教え、彼女には英語を教えてもらいお互いに語学力をあげるように協力するなどした。人とコミュニケーションをどれだけとるかで、自分自身の語学力がものすごく上がると思う。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

〈取り組み〉

授業前日には予習、授業後には復習を必ずして授業内で手遅れしないように予習・復習は必須にしていた。また、それ以外にも単語帳を買い毎日ページ数を決め空いた時間に勉強したり、友達との会話で分からないことがあったらわかるまで説明してもらっていた。やはり、聞き流すという行為が一番よくないと思っていたので、聞き取れなかったこと、わからない文法や単語はすぐ自学勉強で学びなおすようにしていた。リスニング・スピーチとはとにかくローカルの友達をたくさん作ってたくさん話すように心がけていた。

〈成果〉

半年たち、耳が慣れ英語がすごく入ってくるようになった。昔までは、頭の中で聞いた英語を日本語に置き換えたり、英語を日本語で考えて言葉を発していたけれど今は頭の中で置き換えることなくスムーズに英語が出てくるようになった。また、文法力もあがりいろんな使い方をできるようになった。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

〈反省点〉

前期は緊張感がありテスト期間以外にも勉強を自らしていたが、生活になれ英語にも慣れた後期は自学勉強がすごく疎かになった。生活に慣れるといいこともあるけれど自分自身に余裕ができてしまい、勉強が疎かになったことはすごく反省している。

〈アドバイス〉

授業は英語が理解できることが前提であるため、英語力を留学前につけてから留学した方がもっと理解が深まり楽しいと思う。また、プレゼンテーションのグループは当たりはずれの差があるため苦労することもすごくあるから、なるべくローカルのメンバーとグループになることをおすすめする。

2.3. 留学生活で得られたもの

私はマレーシアで1年間留学を終えた今、一番留学生活で得られたことはイスラム国でしか体験できない文化を知って様々な国の人と触れ合う大切さである。また、自分自身の性格や考えが大きくいい意味でかわり物事・社会のことをすごく考えられるようになった。元々、文化交流にすごく興味がありマレーシア留学を希望したことで、イスラム教だけではなく他の宗教の人と関わったり考えを聞いたりしたことで今までの考えや日本人では考えられないようなことを肌で感じた。また、人と関わる大切さを学び自分のことを表にオープンに話す必要性を学んだ。自分の殻にこもっていることでは誰も何も助けてくれない、自分から何もかも進めていかないといけない自立性も得た。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

〈反省点〉

生活面では、後期になって休日に勉強より遊びを優先してしまった時がたまにあったことやテストの時期が年末年始であったため、すこしだらけていた時期が多かった。また、旅行をするにあたって自分の身の回りのことをしっかり見ることができず、携帯が盗難にあってしまったためもっと自己管理をしなければいけないと思った。

〈アドバイス〉

留学生活は思っていたより、日本人が多い時期もあったが何人かは日本人グループで固まっていたけれど私自身は、日本人で固まることをおすすめしない。そして、ローカルやほかの国の友達と出かけたり、仲良くすることで英語力がとても上がると思う。そのため、積極的に自分をだしていくことが一番留学するにあたって大事だと思う。また、旅行をたくさんしてほかの国についても学ぶこともすごく大事だと感じた。マレーシアは文化にすごく触れることができる国であるため文化や宗教について学びたい人にはすごくオススメな国である。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年1月19日

所 属	外国語学部 () 研究科	国際文化交流学科・専攻	3 年次
派遣先大学	マレーシア プトラ大学		12 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	(ルームメイト6人(国籍は様々)・3部屋(一人部屋 二人部屋 三人部屋) 部屋は基本的に広い)
3	入居時手続き	(最初に全額を学校内の銀行で払い、領収書と引き換えに鍵をもらえる。)
4	費用(月額)	2000 (RM) (食費含む/月)
5	支払方法	現金、クレジットカード
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (アイロン)
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	(近隣に小さな町があり、車で10分ほどのところには大きなショックがある。バスは学校の目の前にとまり駅まで無料でいける。)
9	アクセス	(大学内に寮があるため、どこでも近い)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(不満を感じたらなんでも言うべき。また、ルームメイトとの間で不満があればオフィスの人にすぐ相談した方がよい。)
11	引越された方は引越し先の住居形態を記入 ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
12	詳細を教えてください	()

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
---	-------------	------

2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(空港でSIMカードを購入。毎月トップアップが必要 (色々な場所でトップアップが可能である。))
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	400 (RM) /月
2	食費	1000 (RM) /月
3	交通費	200 (RM) /月
4	通信費	40 (RM) /月
5	娯楽費	1000 (RM) /月
6	図書費	(通貨入力) /合計
7	学用品 (教科書など)	30 (RM) /合計
8	被服費	(通貨入力) /合計
9	医療費	(通貨入力) /合計
10	雑費・その他	600 (RM) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舍デポジット	10000 (円) /合計
12	ビザ申請関連費	10000 (円) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	80000 (円) /往復
14	その他	(通貨入力) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	1000000 (円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 45000 円) <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名:) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	お金に関するアドバイス	基本的に物価がとても安いので、奨学金だけですべて賄えるためお金に関しての心配はそこまでいらない。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	D19 (12か月分で100000円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	はい
3	海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けた
4	どのような方法で適用を受けましたか？	キャッシュレス その他（ ）
5	日本から持参した方が良かったなと思う薬などがありますか？理由は何ですか？	正露丸・便秘薬

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの スキンケア用品・食材・薬・ヘアアイロン・蚊取り線香
2	現地で購入したもの スキンケア用品・ドライヤー・ハンガー・虫よけ
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの 体温計

VI. 留学先で困ったこと

渡航したばかりの時は、書類関係で不備があったり履修登録にとっても苦労した。また、フラットメイトとに不満をすごい持ち注意をすることが多かったり、何度注意しても共同ルームを汚されたことがありますごく大変で、苦労した。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

基本的に、新日の国であり日本食もたくさんあるのであまり日本食には困らないため、そこまで食材を持っていく必要はないと思う。また、ゲストハウスは日本の家と比べて綺麗ではないので、潔癖症がひどいひとは苦労すると思う。物価に関してもすごく安くて過ごしやすいため、奨学金で全て賄えるためお金に関しての心配はあまり必要ないと思う。